

茨城県教育研修センター教育研究に関する事業に係る指導主事の訪問（第3回）  
～令和5年度・令和6年度の研究協力校～

10月30日（月）午後、令和5年度・令和6年度の研究協力校の第3回の訪問で、茨城県教育研修センターの教職教育課の海崎昌幸指導主事、宇田川映指導主事が来校されました。

今回は、総合学科1年生（1年3組～7組）の「総合的な探究の時間」の授業を見ていただきました。授業見学は、学習アプリ（スタディサプリよのなか科）を活用した内容、実物を見せて生徒に考えさせる内容、担当者自身の教科の知識などを活用した内容など5クラスで行いました。

研究協議では、第2回訪問で意見に出た「生徒につけてもらいたい力」を具現化するための方法について、17名の先生方が5班に分かれて話し合いをしました。

今年度は、研究主題をふまえて、総合学科1年生において、「総合的な探究の時間」を主にして、キャリア教育の充実が図れるように研究に取り組んでいます。

【指導講評】

- ・各クラスで生徒が安心して自分の意見を言える雰囲気ができている。
- ・電子黒板、端末などICTが効果的に活用されている。
- ・振り返りでは、話し合いで終わりではなく、生徒が自分事として意識できるよう工夫されている。
- ・生徒にどんな力を身に付けさせたいか、各授業でねらいを明確にして継続していくことが大切である。
- ・事前、事後でアンケート調査をして、生徒が自身で変容を感じられることが大切である、など。

【研究主題】

学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育  
—子供が「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にする教育活動を通して—

～指導主事の訪問（第3回）のようす～

学習アプリを活用した授業



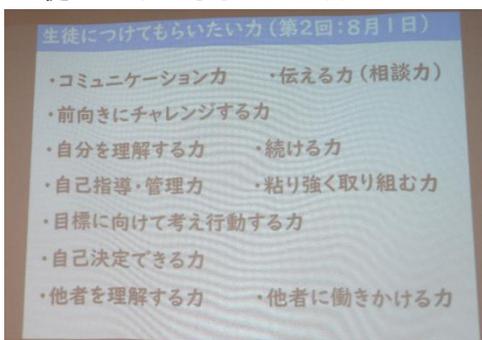
笠間焼と益子焼についてカップで説明



電子黒板と端末を活用した授業



生徒につけてもらいたい力



グループワークのようす



指導主事2名から指導講評

